

2025年9月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 デ ジ タ ル プ ラ ス  
住 所 東 京 都 渋 谷 区 元 代 々 木 町 3 0 番 1 3 号  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 菊 池 誠 晃  
(コード番号：3691 東証グロース市場)

問 い 合 せ 先 取 締 役 C F O 加 藤 涼  
兼 グ ル ー プ 本 部 長

TEL. 03-5465-0690

### 連結子会社の経営体制強化に関するお知らせ

当社は、連結子会社である株式会社デジタルフィンテックの経営体制の強化について、2025年9月30日開催の同社臨時株主総会及び同日開催の同社取締役会決議において下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 経営体制強化の内訳

氏名	新役職名	現役職名
菊池 誠晃	株式会社デジタルフィンテック 代表取締役会長	株式会社デジタルフィンテック 代表取締役社長
牧 太郎	株式会社デジタルフィンテック 代表取締役社長	株式会社デジタルフィンテック 執行役員

#### 2. 経営体制強化の理由

##### ① 資金移動業（金融庁管轄）に特化したデジタルフィンテック経営体制

今後の成長戦略を加速させるため、デジタルギフト事業を本社に移管・集約し、株式会社デジタルフィンテックは金融関連事業（資金移動業等）に特化させることで、グループ全体の効率化を検討しております。

そのうえで、新任代表取締役社長 牧 太郎は、金融分野における専門知識を活かし、資金移動業を中心とした金融関連事業に注力いたします。金融庁・財務局対応を含む規制対応を主導し、ガバナンス強化と成長分野への重点投資を進めてまいります。

##### ② グループ全体の税務最適化

現在、デジタルプラス単体では、過去の欠損金に加え、デジマセグメントの各事業の売却により赤字基調となっております。一方、デジタルギフト事業単体では、大きな利益成長が今後も見込

まれており、デジタルギフト事業の本社移管・集約を通じ、グループ全体の税務最適化を検討しております。

③ 2027年9月期 流通総額1,000億円(※)に向けて

新任代表取締役会長 菊池 誠晃は継続的に、デジタルギフト®及びデジタルウォレットの流通総額拡大に注力し、まずは中間目標である月間流通総額35億円実現に邁進してまいります。

※資金移動業取得の遅れにより中期目標の時期を見直し中

本体制の変更は、変化の速い事業環境に対応しつつ、経営判断と執行をより迅速かつ柔軟に行い、企業価値の向上を図るためのものです。

### 3. 新任代表取締役の略歴

氏名 (生年月日)	略歴		所有 株式数
牧 太郎 (1974年1月18日)	1996年4月	株式会社三和銀行(現:三菱UFJ銀行) 入行	0株
	2015年1月	二葉産業株式会社入社	
	2016年5月	株式会社ローソン入社 ローソン銀行設立メンバーとして参画	
	2020年9月	住信SBIネット銀行株式会社入社 経営企画部担当部長	
	2021年4月	株式会社優良住宅ローン 出向 代表取締役副社長	
	2024年11月	クイーンビーキャピタル株式会社 社長室室長兼BD国際部部長	
	2025年7月	当社入社 執行役員就任(現任)	

### 4. 経営体制の変更日

2025年9月30日

以上